

2021年11月2日

世界経済フォーラムおよび Apolitical 主催

2021年度「Agile50 (アジャイル50)」、日本の公共部門リーダー2名が受賞

– 石丸修平氏 (福岡地域戦略推進協議会事務局長)、鬼頭武嗣氏 (内閣府革新的事業活動評価委員会委員) –

世界経済フォーラム Global Future Council on Agile Governance と国際官民連携ネットワーク Apolitical は、2021年10月29日、アジャイル・ガバナンス (時代にあったルールの機動的なアップデート) の実現に尽力した世界の公共部門リーダーから50人を選出する「Agile50 (アジャイル50)」に、日本から石丸修平氏 (福岡地域戦略推進協議会事務局長)、鬼頭武嗣氏 (内閣府革新的事業活動評価委員会委員、株式会社クラウドリアルティ CEO) の2名を選出しました。

Agile50 について (詳細は <https://apolitical.co/agile-50-nominations-2021/> を参照ください)

「公共部門を変革する最も影響力のある50人」として、公共部門においてイノベーションを推進し、世界からガバナンスに変革を起こしているリーダー50人を選出し、スポットライトを当てる国際的な取り組みです。硬直した官僚主義から脱却し、パブリックセクターのプロセス改善や新たなルールづくりに向けて「アジャイル (機動的)」な手法を活用している政治家、公務員、起業家、アントレプレナーによるベストプラクティスを社会に広く共有し、学ぶことを目的としています。第一回となった2020年度は村上敬亮氏 (内閣府地方創生推進事務局審議官)、中原裕彦氏 (内閣官房 日本経済再生総合事務局参事官)、久保田秀暢氏 (国土交通省自動車局審査・リコール課長)、羽深宏樹氏 (経済産業省情報経済課課長補佐) が受賞しました (肩書きはすべて当時)。

選考基準

1. 未来志向：最新テクノロジー、トレンドの取り込み
2. 結果志向：明確な公共政策ゴール
3. 実践と学習：イノベーション環境の整備
4. データとテクノロジーの統御：パフォーマンスに対する継続的なモニタリングの実施
5. 産業志向：産業による社会的なインパクトづくりの支援
6. 多様な連携：セクターを超えた横の連携の実現
7. 国家行政と地方行政の連携：政策的な一貫性の確保
8. 国際性：グローバル視野による国際的なアクションの推進
9. イノベーター志向：現状追認に陥りやすい現実の認識
10. 市民中心：設計と実行における確実な市民視点の反映

2021 年度 Agile50 国内受賞者の取り組み

石丸 修平氏 (福岡地域戦略推進協議会 事務局長)

政府、民間企業、大学など 218 のパートナーと協力、社会課題の解決に役立つ事業を立ち上げ、政策を実行しています。産学官および市民との連携を促進する仕組みを運営し、地域経済主体の対応を強化、機動的な政策提言を行う取り組みを推進。最近では福岡市と協力し、産業と都市開発のための戦略を策定し、遠隔医療のための服薬指導に関する法改正など、さまざまな規制改革を実現しました。現在は 50 ヘクタールのスマートシティ創設を主導し、地域住民と協力して自律走行の実証実験を行っています。

石丸 修平氏コメント

この度の受賞を大変嬉しく思います。社会構造の変革を目指してアジャイルガバナンスを地道に進める人やチームの貢献に光を当て、その経験をグローバルに共有する狙いがあると伺いました。また、collaborator としての受賞は、まさに FDC の産学官民による取り組みを、チームが一丸となって続けたことで実を結んだものと受け止め、支えて頂いている全ての皆様に心から御礼を申し上げたいと思います。

鬼頭 武嗣氏 (内閣府革新的事業活動評価委員会委員、クラウドリアルティ CEO)

Fintech の起業家(株式会社クラウドリアルティ創業者兼 CEO)として、金融ソリューションとテクノロジーの活用を実行しています。内閣府革新的事業活動評価委員会では唯一の起業家メンバーとして、日本のスタートアップエコシステムを代弁。経済産業省ガバナンス・イノベーション委員会のアドバイザリーボードメンバーのほか、日本 Fintech 協会の副会長として Regtech & Suptech 委員会のリーダーを務めています。多くの国の規制当局や Fintech ハブと強固な関係を築き、政府間の対話を促進、国境を越えた官民の取り組みを支援し、規制のサンドボックスとの国際的な相互運用性(インターオペラビリティ)を支援しています。

鬼頭 武嗣氏コメント

スタートアップ起業家がサンドボックス制度の運営に携わるというのは世界でも類を見ず、制度創設の頃より 3 年以上に亘ってこのような機会を頂き、日々サポート頂いている内閣府・内閣官房の皆様や、他の委員の方々ともこの受賞の喜びを分かち合いたいと思います。Fintech 起業家にとって国内外のガバナンスシステムの変革はビジョンの実現の上で避けて通れないチャレンジですが、引き続き当事者として様々な制度・法規制をアジャイルにアップデートしていきつつ、包摂的な金融・資本市場を実現していきたいと思います。

その他、海外の受賞者については[こちら](#)

世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターでは、DX 時代に適した行政改革を促進するために、各受賞者の先進的な取り組みに光を当て、その経験をグローバルに共有していきます。

世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターについて

世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター（センター長：山室芳剛）は、政府、企業、市民社会、専門家との連携を通じ、テクノロジーを最大限に活用して社会課題を解決するために必要なルールづくりと実証を推進しています。2018年7月、世界経済フォーラム、経済産業省、アジア・パシフィック・イニシアティブの共同事業として設立。多国間ネットワークを活用し、データ政策、ヘルスケア、スマートシティ、モビリティ、アジャイルガバナンスなど多様な国際プロジェクトを推進しています。

HP: <https://jp.weforum.org/centre-for-the-fourth-industrial-revolution-japan> Twitter: [@C4IRJapan](https://twitter.com/C4IRJapan)

アジャイル・ガバナンスプロジェクトについて

第四次産業革命を背景とする社会構造の変化や急速な技術発展のスピードに、規制やガバナンスのアップデートが追いつかないという事象が世界各国で起こっています。このガバナンス・ギャップは企業が新しいアイデアや製品、ビジネスモデルを導入するのを妨げ、時代に合わないルールに人々に縛りつけることにも繋がっています。アジャイル・ガバナンスプロジェクトでは、ゴールベースの規制づくりや、テクノロジーを用いたリアルタイムモニタリングによる運用、シミュレーションによる政策の策定など、行政や規制手段を機動的に変革していくための実証を推進し、各国の経験、アイデアをグローバルに共有しています。

世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター 担当：ティルグナー順子

Tel. 03-6823-1445 / 080-9296-7099 Email: C4RJapan_info@weforum.org / junko.tilgner@weforum.org

